

長期のマイカー規制で来客減少 地元の観光関係者に不信感

(1) 富士スバルラインの マイカー規制について

●白壁 今夏の富士山登山者数は20万8,000人余と、昨夏より2万6,000人余の大幅な減少となった。台風の影響も否定はできないが、地元の関係者からは大幅に延長されたスバルラインのマイカー規制が主要因であるとの声が上がっている。

規制の影響は登山者だけでなく、山麓観光地の多くがインバウンド、国内観光客の別なく期待を裏切られている。

山中湖など従来ほとんど観光客がマイカーで訪れる観光地は、富士山五合目見学とセッティングマイカーで富士山に登れなければ、周辺観光地への来訪者減少は当然予想されていた。

他の世界遺産登録地と同様、30%前後の増加が期待されていた関係者は県の「稚素」に落胆している。

(2) 外国人旅行者の誘客に向けた 取り組みについて

●白壁 「成功事例は海外にあり」。私の心情である。博物館の運営（とりあげても、信外国人観光客の受け入れ方まで、参考にするべき事項が豊富にある。車規制など自然公園での対応や、森林再生への取り組みも然りだ。私はこれらの観点から外国の成功事例を探るべく積極的に海外事情を現地視察してきた。平成23年にはタイ、シンガポール、昨年はインドネシアを訪問し現地の方々と直接交流してきた。また、航空会社幹部とも交流し、机上調査だけでは分からない情報を得ることができた。

本年6月には訪日観光客が220万人を超えた台湾を訪問し農産物販路拡大と観光交流の可能性について調査した。知事のトップセールスに劣らないPRができたと思自している。台湾では日本の外務省に当たる亜東関係協会、財団法人交流協会や現地の旅行会社を訪問し、富士山をはじめ山梨の観光の魅力をPRして大きな手こたえを感じた。

知事はこれまで積極的にトップセールスを展開しておられるが今後の積極的な展開を期待しつつ知事自身の考えを伺う。併せて今推進中の県内大学とインドネシアとの学術交流など、今後どのように取り組むのかも併せて伺う。

●横内知事 マーカール規制は、目下、最も美しい自然かつ自然災害の驚異と共に生きながら山梨県民の大切な生命と財産を守るために政治にできることを実行して参ります



●横内知事 外国人観光客の誘客については、トップセールスにおいて、海外でも富士山の知名度は抜群で、リゾートやワインへの評価も高く、改めて山梨の素晴らしさを感じた。議員御指摘のように、台湾や東南アジアからの誘客については市町村や観光業者と連携して大きな成果につなげていきたいと思います。

る。国際的な交流事業については、この秋200名規模で本県に招聘するアジアの学生のホームステイをはじめ、大学間交流での受け入れなどを通して山梨を核とした知日家を創出できる取り組みをいきたいと思います。

(3) 富士北麓地域の 冬期観光対策について

●白壁 昨年、約3,000万人に達した本県の観光客入込客数は夏場に集中しており、冬の間はわずか16%だった。今後を考えると、冬期の観光促進は本県観光にとって大きな課題といえる。従来、本県の冬期観光は寒さや交通事情などにより誘客力に欠けるとされてきた。しかし北海道の観光地では「寒さ」を誘客力として魅力的なPRを展開し、東南アジアなど通常の外国人にとっては魅力的な観光地と映っている。

探長補短、先進例にも学び、私は、観光客の少ない冬の季節の誘客力も補い、強みを誇り、

県土強靱化について

山中湖忍野富士吉田線 完成へ向けての現状は

(1) 富士山の噴火防災対策について

●白壁 富士山は1707年の宝永噴火以降300年以上静穏な状態が続いており、今いつ噴火してもおかしくない状況と今われている。ひとたび噴火した場合には溶岩の降灰、その後の土石流等による甚大な被害の発生や、首都圏全域にも大降灰等、国民生活に及ぼす影響は計り知れない。私はこれまでも県議会などにおいて、対策の必要性について警鐘を鳴らしてきた。本年度、山梨、静岡、神奈川3県共同による防災訓練が実施されることになったが、いかに訓練を繰り返しても、各種事態への対策は不十分で、避難路も確保されていない。訓練を面談に帰す。

昨年、国は国土強靱化基本法を制定し、本年6月には国土強靱化基本計画を決定した。本県では全国に先駆け、地域計画策定のためのモデル調査実施団体として、地域計画の策定に取り組んでいるが、本県には活火山富士山がある。私は富士山を強靱化地域計画に位置づけ、防災減災に取り組んでいくべきだと考えるが、県の御所見を伺う。

●横内知事 現在、本県が他県に先駆けて

エーションしていくことが、年間の誘客数の平準化を招き、通年観光により地域振興を図る有効な施策であると考える。

本県に目を向ければ、富士北麓地域の冬期は天候にも恵まれ富士山の景観は冬期が最も見どころともいえる。郷土料理も含めて外国人を誘客する立派な観光資源を保持している。冬期においてもイベント、サービスを通して本県各地の魅力企画し、冬期観光促進を図るべきと考えるが、県の御所見を伺う。

●観光部長 冬期の観光対策については大

きな課題と捉えている。富士北麓では、これまでイルミネーションや冬花火などのイベントで集客増加を図っているが、最近では雪化粧の富士山や山麓の雪景色などの魅力が認知されてきた。冬期の来客も増えつつある。さらなる誘客策として雪や氷を活用した富士北麓ならではの新たなイベントの開発を促進するとともに、観光ネットやトップセールスを通して情報発信の活性化に努めていくことを検討している。

●企画県民部長 忍野村・山中湖村間の整備

については、北富士演習場による周辺地域住民の生活、事業活動への影響を緩和するための民生安定事業としての整備を旨とし、防衛省との協議を積極的に行っている。

複数のルート案が検討されているが、本年6月には、まとまった要望案が示され、7月には地元との現地調査や国との協議手続きなどについて確認したところである。

(3) 市町村道路の橋梁の 老朽化対策について

●白壁 昨年度から今年度にかけての道

横内知事の功績に改めて感謝

●白壁 締めくくりに当たり、一

言述べさせていただきます。この夏、全国の輝ける若人が山梨に集結しました。インターハイ、素晴らしい大会でした。大会を支えた関係者の皆様の御尽力に深く感謝申し上げるとともに、多くの県民に勇気や希望を与えてくれた本県選手団、そして、大会を支えてくれた大勢の地元高校生に敬意を表します。

「時がぬ種は生えぬ」、蒔いた種も結果するまでには時間がかかります。この夏、多くの人の胸を熱くさせた若者たちが、十年後、二十年後、活力溢れる山梨を築き上げるとき、知事の功績が改めて評価されるときが来るものと確信しながら私の質問を終わります。

継往開来、御清聴ありがとうございました。

●横内知事 私は知事が就任前から郡内地域に足を運んでいただいたいでいたことを覚えております。就任後、様々な障害がある中、富士山の世界文化遺産登録を実現されました。富士山、東部地域に小児救急医療センターも開設されました。富士北麓をグレートの高い観光地にするための

路法関係法令の改正により、橋梁などの点検が義務付けられ、道路管理者の責任が明確化された。改正に伴い事故発生の際の管理責任がより厳格化され、従来以上に責任を問われる可能性があり、県や市の担当職員は訴訟に備えて個人で保険に入らざるを得ない状況にある。

県はこれまで橋梁長寿命化計画に基づき、緊急輸送道路などを優先して国の交付金を活用しながら、橋梁の耐震化や補修等を行ってきたが、市町村においては橋梁長寿命化計画を策定しているものの、財源確保や人員等の問題から対応に苦慮している状況にある。このままでは東海沖地震などの際、避難路上の橋梁被災で避難路が寸断される可能性がある。このような状況に果はどのように対応していくのか伺う。

●県土整備部長 道路法の改正を受け、県

では国と連携し、本年5月には市町村支援を目的に国土山梨県道路メンテナンス会議を設置し、市町村が対策を着実に実施できる課題の整理を行い、今後は技術講座を開催や技術的支援など必要な支援を行予定だ。

待ったなし、富士山噴火への防災対策 「人口減」「リニア」「北麓観光」など課題を質疑



平成26年9月
定例議会で質問

山梨県議会議員
白壁賢一 [しらかべ けんいち]
1960年生まれ。90年に33歳で日河口町議会に初当選、3期務める。
2003年に富士河口湖町議会に当選し2期。この間、議長などを歴任。
07年に山梨県議会議員に初当選。自民党 県民クラブに所属。

9月27日昼、お隣り長野県の御嶽山で、死者55人行方不明8人（10月9日現在）という大規模な水蒸気噴火が発生しました。

被災者の中には本県の甲斐市、上野原市在住のご夫婦がおられました。謹んでご冥福と、いまだ不明の方の発見をお祈り申し上げます。

霊峰富士を誇りにしている山梨県民にとって、この噴火は際大きなショックであり、とりわけ山麓で暮らし、富士の自然や生活、観光事業等の恩恵を享受している私たち北麓住民にとつてまさに他所事ではありませんでした。

その御嶽山噴火直前の9月25日、9月定例県議会一般質問に立たせていただいた私は、富士山噴火の防災対策について、県の積極的対応策を重ねて提案、要望しました。その後、御嶽山噴火を経て、県は知事自ら「非難壕の設置」検討を発表しました。

一般質問ではその他、「リニア」「自殺対策」「観光振興」など多岐にわたって提案させていただき、それら全般を報告させていただきました。

お気軽にご意見を
お聞かせください。

「白壁賢一」で検索してください!

白壁賢一

検索

TEL 0555-73-3737 FAX 0555-73-3757

〒401-0301 山梨県南都留郡富士河口湖町船津1505

白壁賢一 公式サイト: <http://www.shirakabekenichi.jp/>

白壁賢一 E-Mail: Shirakabe@kawaguchiko.ne.jp

山梨県議会議員
白壁賢一
活動レポート
【発行元】白壁賢一

Vol.28
2014/11

明日の山梨を元気に!
もっともっと
SHIRAKABE

撮影: 白壁賢一 (撮影場所: 忍野村 高座山から)

100%

それでは県政与党、自民党・県民クラブの立場から、県政一般について質問いたします。

知事、「山梨発展の萌芽」はまだ芽を出したばかりです。「暮らしやすさ日本」の実現は、まだ緒に就い

れました。

然らば、知事の考えを継承し、誰もが認める人を後継指名すべきであり、それが政治家としての知事の責任であると考えます。

釈然としませんが質問に入ります。

れました。

然らば、知事の考えを継承し、誰もが認める人を後継指名すべきであり、それが政治家としての知事の責任であると考えます。

釈然としませんが質問に入ります。

(5) 登山期間について

●白壁 今夏は、山開き、登山期間の相違ながら、山梨・静岡両県に富士山に關して考へ方の違いがあるのではないかというマスコミからの指摘があつた。国内外からやつて来る登



きではないかと考えるが、今後どのような取り組みをしていくのか伺う。

予想額とどかなかった富士山保全協力金
PR方法など事前準備問題なかったのか

●横内知事 これまでも自然公園法や文化

●**横内知事** 安全対策としては来夏に向けて静岡県やフルドザー道を管理する須走口・小屋組合等と対策協議を進めている。落石等の危険性周知を多様なメディアを活用しながら、況に対して、県としてどのような対策を講じるのか伺う。

●白壁 受け入れ金額は山梨県1億1、390万円、静岡県4、380万円で、当初想定額を大幅に下回

●横内知事 これまで産後ケアセンターの市町村との共同整備や、国の地域おこし協力隊事業を活用した新規就農者の県内定着など、本県の実情にあった取り組みを続けてきた。先月には人口減少対策戦略本部を設置し、

先月下旬、新潟県を訪れた際、本県の3倍の人口を有する同県は既に専門部署を設置している。年間5,000人も減少している本県にそのような部署が無いのは問題だ。そのような情に合った独自の取り組みが不可欠で、専門部署を設ける専門的具体的な研究からの発想が求められる。

白壁議員御提案の専門部署の設置についても、地域の実力を将来に繋げていくための対策を主眼として取り組むことになっている。

□

ンリコードに基づいて、落石対策、植物、溶岩の持ち出し等に対する富士山山麓のシミュレーションによる巡回指導、外国人案内人による注意などを実施しているが、本年夏にはガイドヒデオをほかエチノミツ総合管理センター、登山巴士の作製・五目総合管理で放映するなど、マンナ啓発に努めている。今後関係者の提案を参考としながら改善に努めていく。

●白壁 受け入れ金額は山梨県1億1、390万円、静岡県4、380万円で当初想定額に大幅に下回った。私は国民の財産、世界の宝としての富士山の普遍的価値を認め、てもらっただけで、後世に引き継いでいく

●横内知事 これまで、産後ケアセンターの市町村との共同整備や、国の地域おこし協力事業を活用した新規就農者の県内定着など本県の実情にあった取り組みを続けてきた。先月には人口減少対策戦略本部を設置し、少子化対策や移住定住対策を更に強化するとともに、地域の活力を将来に繋げていくための対策を全庁一丸となって取り組むことになった。

白壁議員御提案の専門部署の設置についても重要性、緊急性を踏まえたうえで検討したい。

リニア効果を享受するため
地域の魅力高める県の努力を

先般は間もなく着工との報道があったが、開業すれば人口7,000万人のスーパーメガリージョンが形成され、山梨県はその一角に加わることになる。首都圏に位置する本県は通勤、通学圏となり誘致企業による新たな産業創出と相まって、安定した定住人口の確保も可能に

地域の魅力を高めることが重要であるが、現時点でそのような意識を持つ地域は稀だ。開業受入れれまでに残された時間はあと13年しかないかもしれない。すぐに始めても決して早すぎるとはいえない状況だ。リニア開業に関する地域への県の支援をどのように考えているのか伺う。

を国に帰して、その子や孫が、その家の主になり、父や
父と兄が助成する。このようにいうものが、改正では
根幹には変化はない。ものの、対象疾患が現
行の56から約300に拡大されること、従
来助成対象外だった他の負担が軽減されること
という二つの議論、御座る通り、受給者増加
は、国、県の負担が主になるもので、将来にわた
って持続可能な社会保険制度を構築するため
の措置として御理解を願っています。

指定支欠の問題については新制度移行時の対応

実施できることとされている。

これらの事業については社会福祉協議会やNPO法人等への委託も可能とされ、モデル事業として本年度から取り組んでいる他県では

ては、困窮にいたる原因、環境が多様であることから、その実態把握に取り組み、どのような事業が必要かなどを検討中である。

ホームを活用して「リニア新幹線都留市駅」の設置が可能なら、観光振興に大きな力となると、思ふが県を考えを伺つ。

●横内知事 リニアの開業効果を享受するために、は、議長の御指摘の通り各地域が工夫を凝らして地域特有の様々な魅力を向上させていくことが重要であり、一部地域を除いて県全体では十分に進んでいるとはいえない。県としては開業前の今のうちから、開業へ向けてしての産業の活性化や観光の促進につけていくことが不可欠と考えている。

「ハローワークとの連携と山梨難病相談・支援センターの機能強化を図っていく。」

教員の力の向上を 重要な課題として

**改正法に伴う新たな課題
県の対応を 早急に整備を**

え、阿鼻叫喚暮らしている。
本年5月、いわゆる「難症

A photograph of a mossy forest floor. In the foreground, a large, flat, grey rock sits on a bed of vibrant green moss. The background shows a dense forest with more moss-covered ground and a tree trunk visible on the right side. The lighting is soft, highlighting the textures of the moss and the rock.

るに長い年月がかかるといふ例えである。今全国学力・学習状況調査の結果公表について様々な議論がなされている。私は公開に反対するものではないが、それ以上に、より内容を分析し、課題を見つけて対処していくことのほうが重要であり、結果として学力向上につながるかと考えるが、この点について教育長の所信を伺う。

私は資源の乏しい山梨だからこそ、教育に力を入れるべきだと考えている。質を高め優れた人材を育てていくためには、日々子供たちと関わり合う教員の資質を向上させる、基本的な授業を行っていくことが、学力向上の基本だと考える。吉田松陰が教えた過いた松下村塾から、維新の立役者となった優れた人材が輩出され、新しい日本を築いてくれたように、

かな退職教員を活用して、若手教員グループ
を事業を行い、授業技術等の向上を図り、総
合教育センターにおいて、通年の教科指導の
研修を実施している。特に今回の調査で課題
があった小学校国語科の担い手を対象とした緊
急・国語相対法研修会を開催することをもち
、すべての教科の授業力高めることを目標とし
た授業力養成講座を開催していく。更に、臨
時校長会を開催し、学校における学力向上に
向けた組織的な取り組みを推進するため、学
校長がマネジメント能力を高めるための活動
を推進して参る。

はようやく来年
1月からの法的根拠による永続的支援体制に生まれ変わることになり、患者さんにとっては一線的光明が差すことになった。

とりわけ医療費助成制度については対象疾患の拡大により、従来対象から除外された方々への強い味方となる

と本県民の自殺死亡率は昨年の全国ワースト17から、昨年はワースト7と暗転した。不名誉な発生地へスウェーデンだけでなく多くの暗転は実に憂慮すべき事態だ。

県は昨年「自殺防止対策行動計画」なるものを策定したが、結果的には計画には穴隙があったと言えたが、仕方がない。

私は、防止のためには県自身が必要な施策を図るとともにより身近な市町村単位での県の主導が不可欠と繰り返し提言してきた。これまでの取組細部に成果が見られにくく、これまで対策の陥穽認め、より高度な対策が必要と痛感しているのが県の御所見を伺う。

自殺防止に関する条例制

●**教育長** 全国学力・学習状況調査については、この調査により測定できるのは学力のすべてではないが、結果は真摯に受け止める必要があると考える。その上で調査結果をきめ細かく分析して課題を把握し、県や市町村、学校、保護者が連携して確かな学力向上に取り組む必要があると考えている。

